

適用機種：

カラー機（CL）	C14010シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド

- No. 05 -

# 画像位置調整

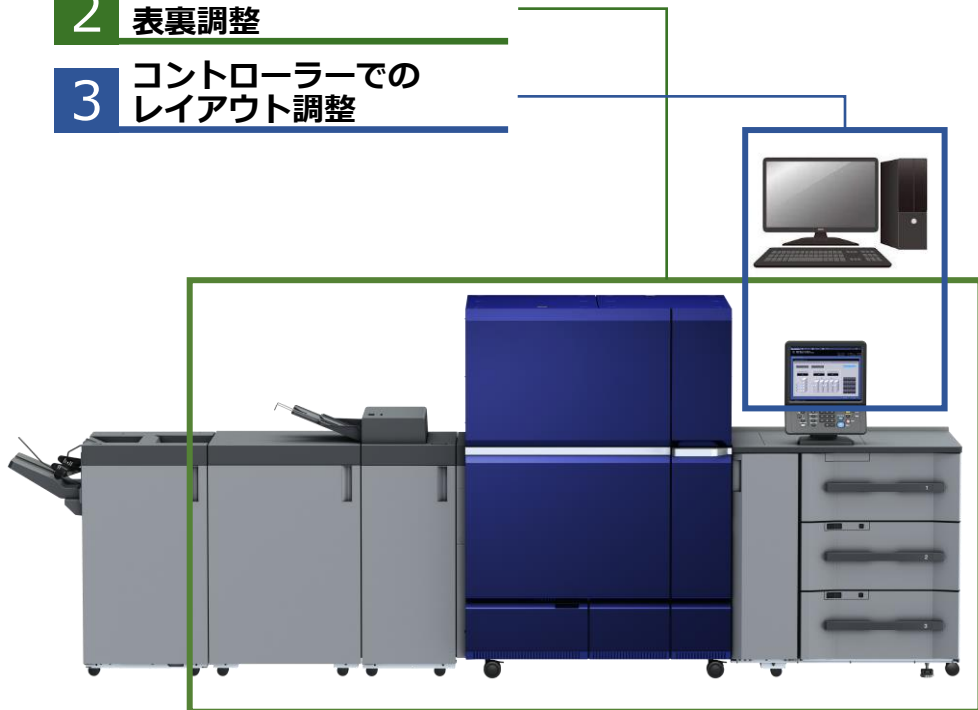
Ver. 01.00

## 目次

### 1 画像位置調整とは

### 2 表裏調整

### 3 コントローラーでのレイアウト調整



# 1 画像位置調整とは

## 1-1. 画像位置調整とは

画像のタテヨコ倍率、上下/左右のシフト量と歪みを調整し、用紙の正しい位置に印刷するための調整です。

[倍率]	<div data-bbox="384 312 512 491"> </div> <div data-bbox="538 312 667 491"> </div> <div data-bbox="490 496 557 520">タテ倍</div> <div data-bbox="723 312 852 491"> </div> <div data-bbox="878 312 1006 491"> </div> <div data-bbox="829 496 897 520">ヨコ倍</div>
[イメージシフト]	<div data-bbox="384 549 512 727"> </div> <div data-bbox="538 549 667 727"> </div> <div data-bbox="501 735 546 759">上下</div> <div data-bbox="723 549 852 727"> </div> <div data-bbox="878 549 1006 727"> </div> <div data-bbox="837 735 882 759">左右</div>
[歪み]	<div data-bbox="384 785 512 963"> </div> <div data-bbox="538 785 667 963"> </div> <div data-bbox="501 971 546 995">回転</div> <div data-bbox="723 785 852 963"> </div> <div data-bbox="878 785 1006 963"> </div> <div data-bbox="829 971 891 995">Skew</div> <div data-bbox="384 1027 512 1206"> </div> <div data-bbox="538 1027 667 1206"> </div> <div data-bbox="479 1214 568 1238">タテ台形</div> <div data-bbox="723 1027 852 1206"> </div> <div data-bbox="878 1027 1006 1206"> </div> <div data-bbox="815 1214 904 1238">ヨコ台形</div> <div data-bbox="384 1270 512 1449"> </div> <div data-bbox="538 1270 667 1449"> </div> <div data-bbox="501 1453 546 1477">曲り</div> <div data-bbox="723 1270 852 1449"> </div> <div data-bbox="878 1270 1006 1449"> </div> <div data-bbox="815 1453 904 1477">曲り位置</div>

# 1 画像位置調整とは

## 1-2. 本機における画像位置調整について

本機には、以下の3つの「画像位置調整」があります。

### プリンター調整：

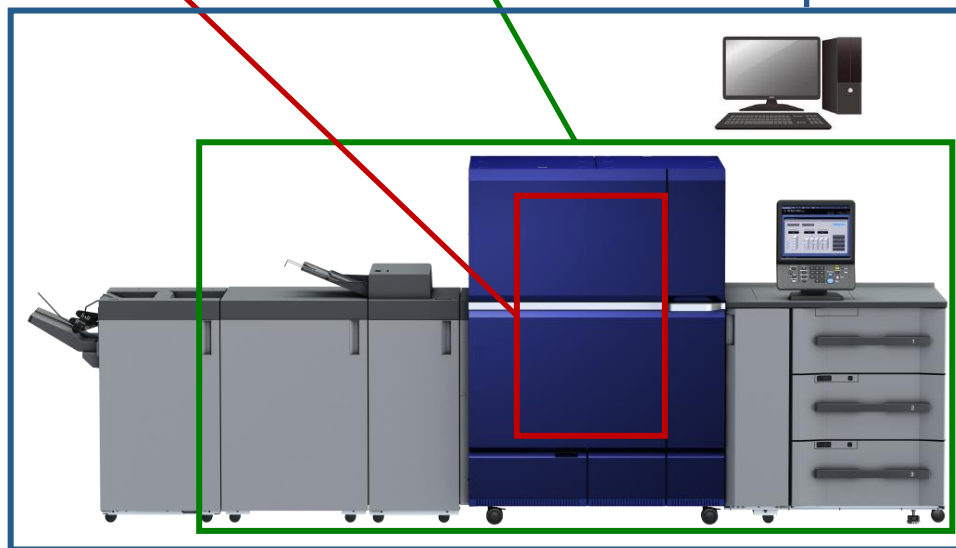
本体の基本性能の調整。  
主にサービス担当者や管理者様が実施します。

### 表裏調整：

オモテ面とウラ面の画像の倍率や位置を合わせる調整。  
用紙の切り替え時など、日常の調整をお勧めします。

### コントローラーでのレイアウト調整：

オモテ／ウラの画像レイアウトを意図的に動かしたい時に使用します。

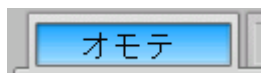
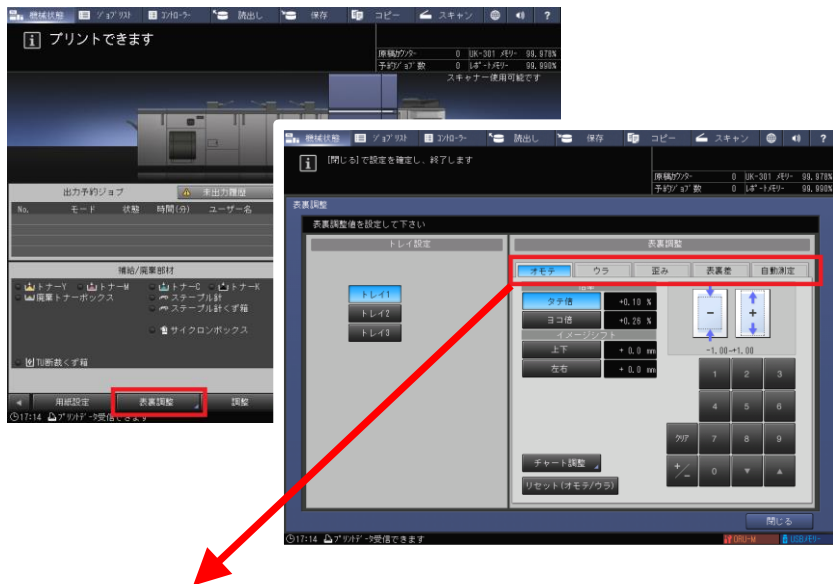


本冊では、「表裏調整」、「コントローラーでのレイアウト調整」について説明します。

## 2 表裏調整

### 2-1. 表裏調整とは

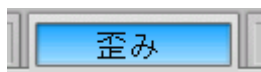
両面印刷でオモテ面とウラ面の印刷位置を合わせるために、表裏の位置ズレを補正する作業を「表裏調整」と呼びます。



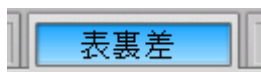
オモテ面のタテヨコ倍率と上下/左右の位置を調整します。



ウラ面のタテヨコ倍率と上下/左右の位置を調整します。



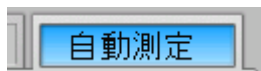
オモテ面、ウラ面の画像の歪みを調整します。



オモテ面とウラ面のズレ量を測定して入力することで、自動的に画像位置を調整します。



スキャナーを用いた表裏調整です。本機から出力した専用チャートのスキャンすることで、自動的に画像位置を調整します。



IQ-601を用いた表裏調整です。  
ジョブを印刷中でも自動的に調整ができます。

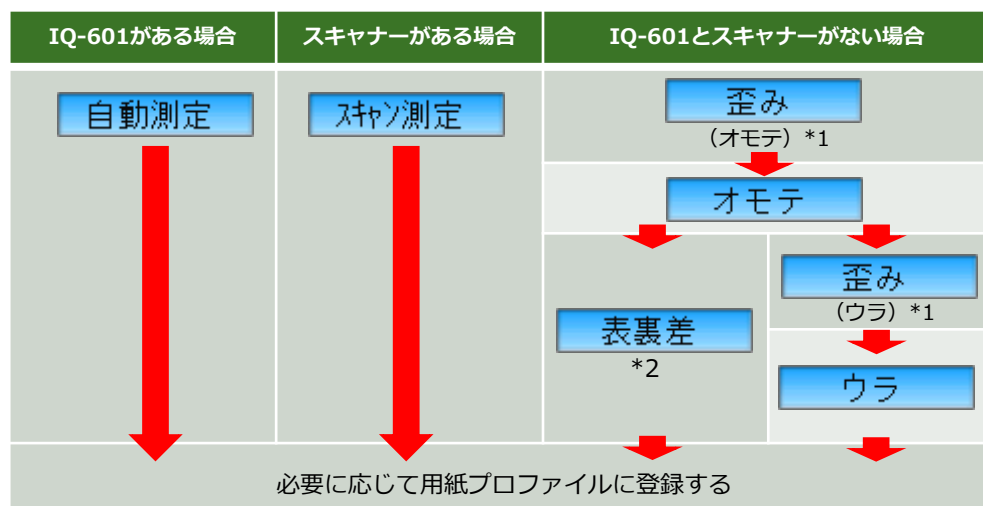
## 2 表裏調整

- ・ [スキャン測定] は、本体にスキャナーを標準搭載しているか、PF-713を接続している場合に使用できます。
- ・ IQ-601が接続されているときは、[自動測定] タブが優先して表示されます。
- ・ スキャナーとIQ-601を併設されているときは、[自動測定] と [スキャン測定] タブのいずれか一方を選択して表示できます。

### 2-2. 表裏調整を実施するタイミング

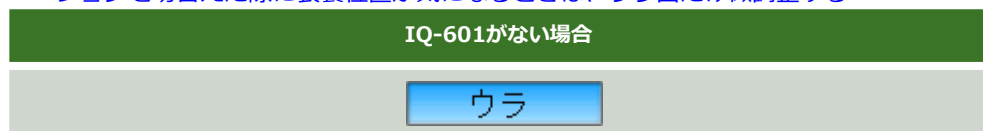
表裏調整を実施して頂きたいタイミングがあります。

- ・ 新しい銘柄、坪量、サイズ of 用紙を使用するとき
- ・ トレイ of 用紙 (銘柄、坪量、サイズ) を変更したとき



- 1:目視で確認できるレベルの歪みがある場合は[オモテ] [ウラ] の前に [歪み] を実施してください。
- 2:倍率とイメージシフトだけの調整でよい場合は、測定ポイントが少ない[表裏差] が便利です。

- ・ ジョブごと (使用するトレイと用紙は変更なし)  
ジョブを切替えた際に表裏位置が気になるときは、ウラ面だけ微調整する

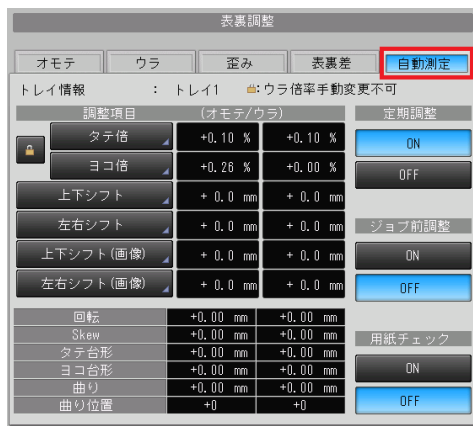


## 2 表裏調整

### 2-3. 表裏調整項目の紹介

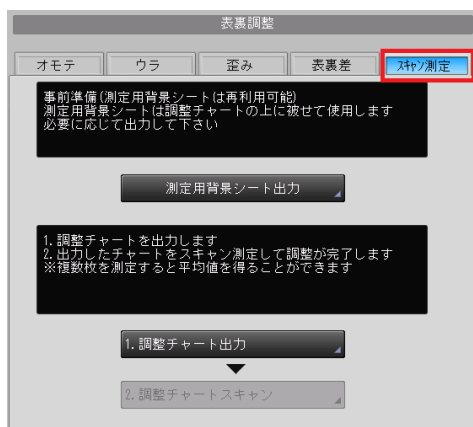
#### 2-3-1. [自動測定]

- ・IQ-601を用いた表裏調整です。
- ・[自動測定] 調整について詳しくは「オペレーションクイックガイド No. 07」をご覧ください。



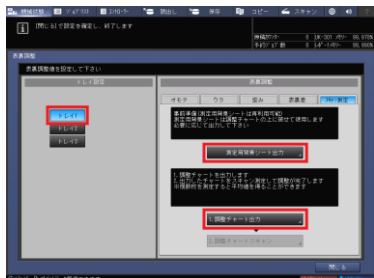
#### 2-3-2. [スキャン測定]

- ・両面印刷したチャートのトンボの位置を、オモテ面、ウラ面ともスキャナーで読み取ります。正しい位置になるよう自動的に調整されます。
- ・[ウラ] で微調整できます。



[スキャン測定] の手順を紹介します。

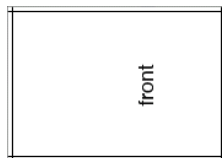
1. 測定用背景シートおよび調整チャートを出力します (A3 or 11"x17")。



測定用背景シート



調整チャート



測定用背景シートは再利用可能です。毎回出力する必要はありません。  
調整チャートを複数枚出力、測定して平均値を算出することで調整精度を上げることができます。

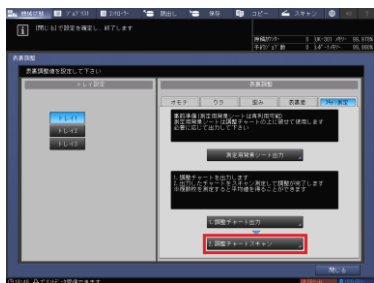


No.05-010 [スキャン測定] 調整

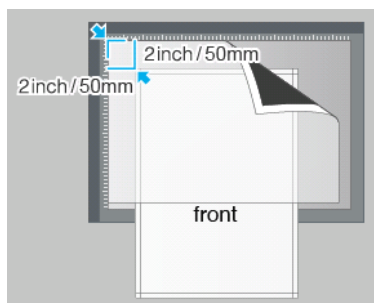
## 2 表裏調整

### 2-3. 表裏調整項目の紹介 (つづき)

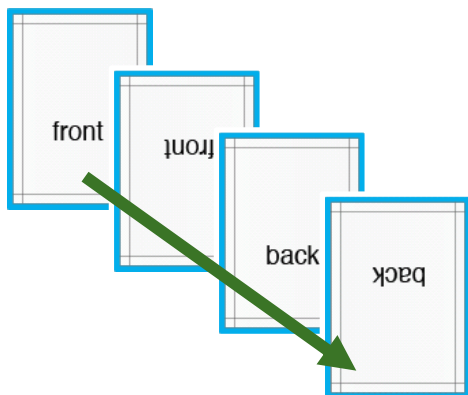
2. 「調整チャートスキャン」を押します。



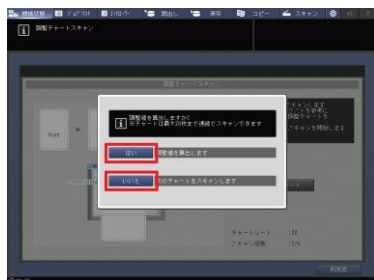
3. 調整チャートと背景チャートを図のように原稿台ガラスの上にセットして「スタート」を押します。



4. 調整チャートのオモテ、ウラを図のように向きを変えて1枚につき4回スキャンします。



5. 調整値を算出するときは「はい」、複数枚出力した次のチャートをスキャンするときは「いいえ」を押します。最大20枚まで連続でスキャンできます。



## 2 表裏調整

### 2-3. 表裏調整項目の紹介（つづき）

#### 2-3-3. 「オモテ」

- ・ オモテ面の画像の倍率とイメージシフトを調整します。
- ・ 「チャート調整」\*1での調整を動画で説明します。



No.05-020  
「オモテ」調整

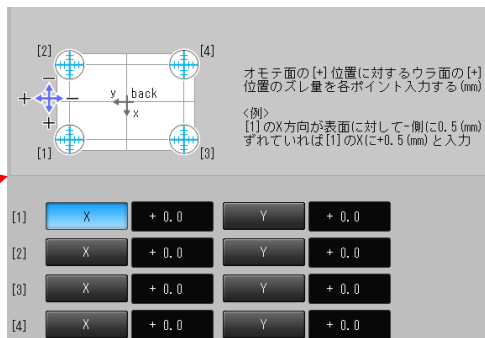


#### 2-3-4. 「ウラ」

- ・ ウラ面の画像の倍率とイメージシフトを調整します。
  - ・ 「チャート調整」\*1での調整を動画で説明します。
- 「ウラ」の「チャート調整」は歪みも同時に調整されます。



No.05-030  
「ウラ」調整



\*1: 「チャート調整」とは

倍率、イメージシフト、歪みが、印刷したチャートの測定値を入力するだけで調整できます。  
チャート測定用に30cmの物差しをご用意ください。  
チャートを2枚印刷し、2枚目を測定してください。



## 2 表裏調整

### 2-3. 表裏調整項目の紹介 (つづき)

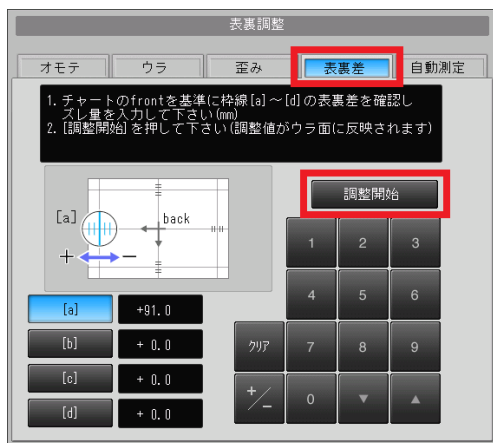
#### 2-3-5. [歪み]

- ・ オモテ面とウラ面の画像の回転や歪みを補正します。
- ・ [チャート調整] は [ウラ] の [チャート調整]と同じです。



#### 2-3-6. [表裏差]

- ・ 出力したチャートのオモテ面とウラ面の基準線のズレ量を入力することで、ウラ面の倍率とイメージシフトを自動的に調整します。
- ・ 測定ポイントが少ないため調整が容易です。
- ・ [オモテ] 調整後に実施してください。



## 3 コントローラーでのレイアウト調整

### 3-1. KM製コントローラーの場合

プリンタードライバーやAccurioPro Print Manager (APPM) を用いて、画像位置を調整できます。

#### 3-1-1. プリンタードライバー (PS Plug-inの場合)

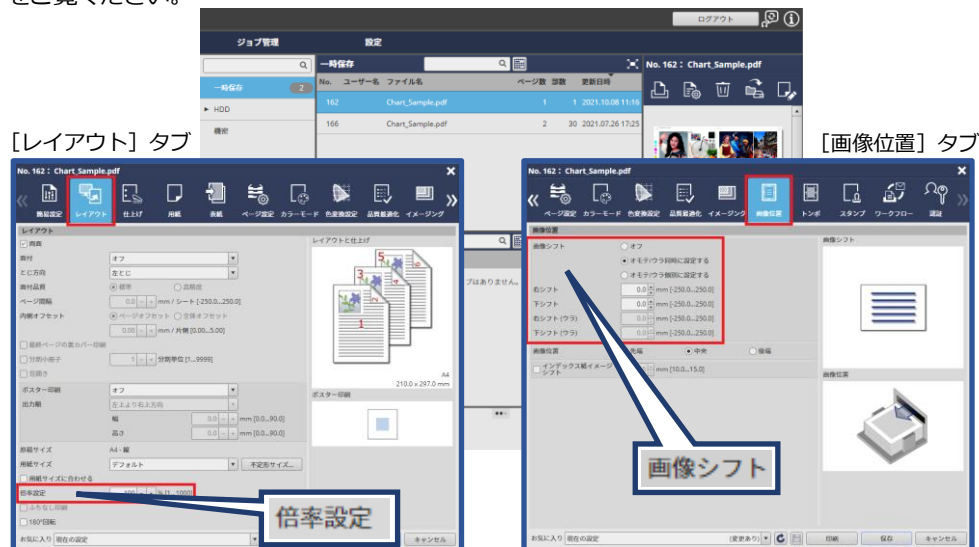


#### 3-1-2. AccurioPro Print Manager (APPM)

PCから操作します。

"http://<IP address of image controller>/printmanager.html"

本機の操作パネルからも操作できます。詳しくは「オペレーションクイックガイド No. 03A」をご覧ください。

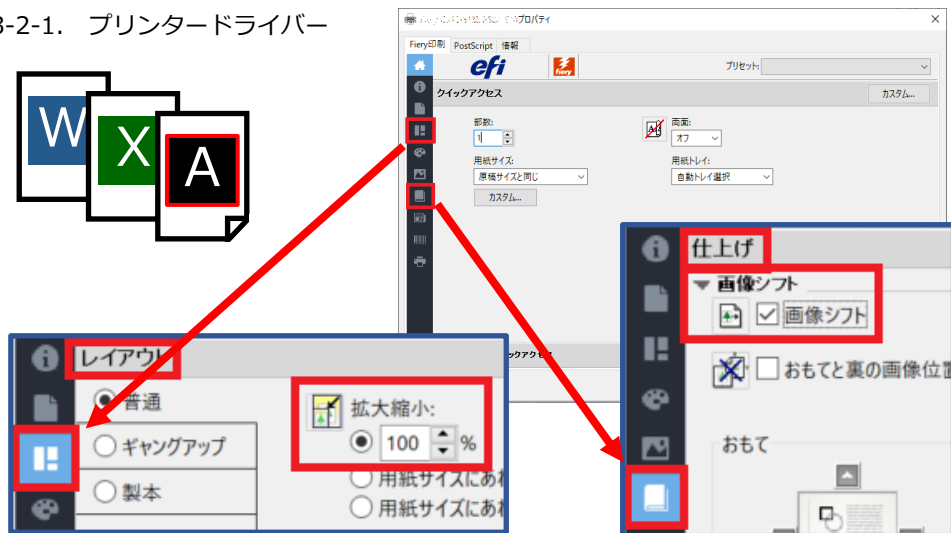


## 3 コントローラーでのレイアウト調整

### 3-2. Fiery コントローラー

プリンタードライバーやFiery Command WorkStation (CWS) を用いて、画像位置を調整できます。

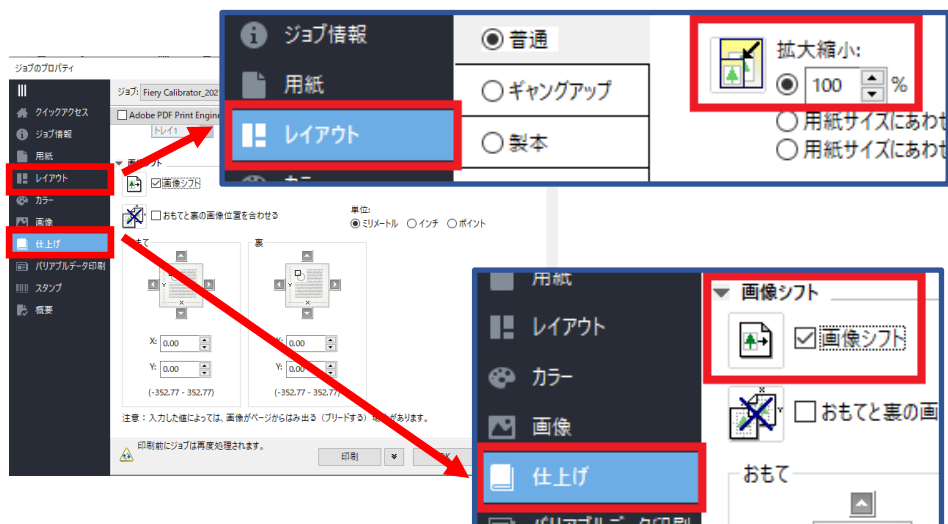
#### 3-2-1. プリンタードライバー



#### 3-2-2. Fiery Command WorkStation (CWS)

PCから操作します。

詳しくは「オペレーションクイックガイド No. 03B」をご覧ください。



MEMO